

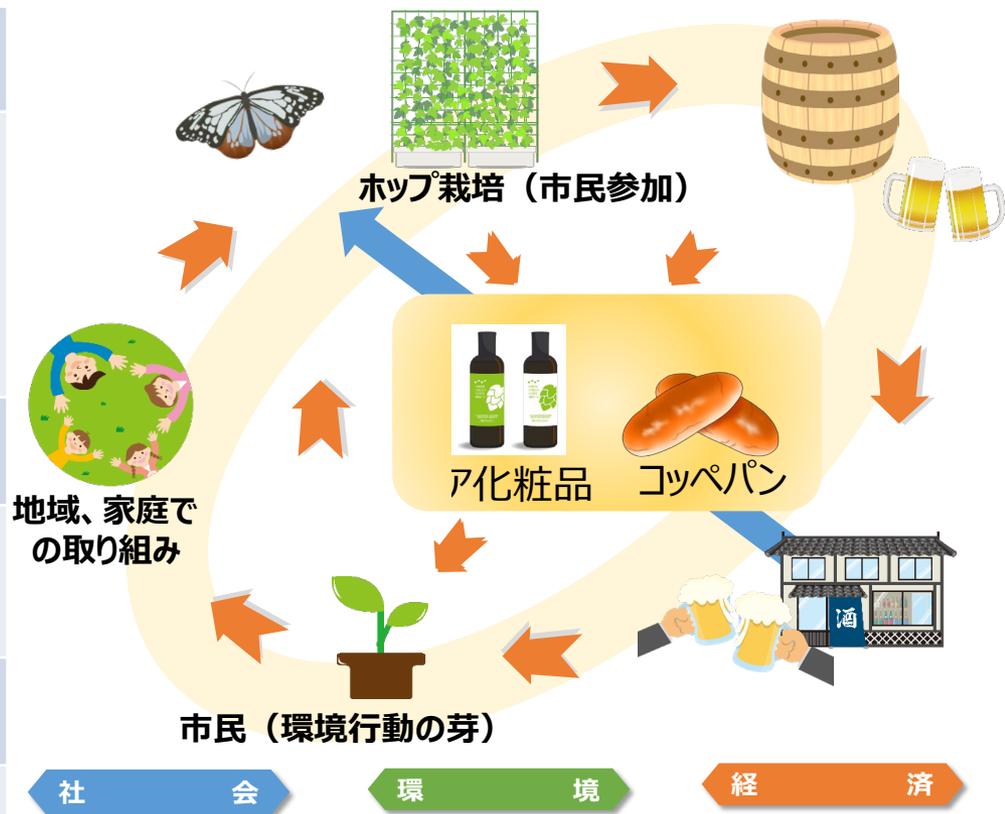
響灘ホップの会



北九州市において、ビールなどの原料であるホップを農園だけでなく幼稚園、小学校、大学、市民センターなど市民参加で栽培。

地ビールやヘア化粧品などを作り、様々な工程で市民参加を促進しながら販売したりするSDGs まちづくりを2020年より実践しています。

代表者	デワンカー バート (九州市立大学)
企画	北九州ビオトープ・ネットワーク研究会、福山コンサルタント、エコプラン研究所
ホップ栽培	若松田中農園、坪根農園、赤崎市民センター、ビオトープ自由ヶ丘 (九州共立大学)、北九州市立大学ひびきのキャンパス、折尾幼稚園、自由ヶ丘幼稚園、日明浄化センター、JR 小倉駅、響灘ビオトープ (デモンストレーション栽培)
ビール製造	門司港レトロビール
ビール販売	門司港地ビール工房、地酒処田村本店、Shimada 酒店、港の酒屋みつばや、産直市場海と大地、井筒屋 他
ビール販促等支援	ギラヴァンツ北九州、若松で音楽を聴く会 (若松鉄人ジャズ)、アミュプラザ小倉
ヘア化粧品開発、販売	美容薬理、パルセイユ



地域SDGs事業（若松エール）の取り組み実績

ビールづくり

2020年 4,200本即完売
 2021年 15,500本
 2022年 16,000本
 2023年 8,000本販売



門司港レトロビールで醸造
 2019年/2021年：全国地
 ビール品質審査会最優秀賞

多主体・市民参加でホップの栽培・収穫

田中農園（若松）／大庭農園（若松）／坪根農園（小倉南）／赤崎市民センター（若松）／若松中央小／九州共立大学／北九州大ひびきのキャンパス／自由ヶ丘幼稚園／折尾幼稚園／北九州市上下水道局／小倉アミュプラザ 他

※過年度の栽培箇所含み



コラボビール



北九州市上下水道局様

2022年：浄水場の“わさび”使用ビール
 2023年：道原浄水場の水と汚泥堆肥ホップ使用



井筒屋様

2021年/2022年：お歳暮用醸造

小倉アミュプラザ様

2023年：20周年記念醸造



クラフトビール起点の資源循環プロジェクト

2021年 北九州市環境未来技術開発助成で調査
 2022年 取り組み開始

- 資源循環①：ビール粕の飼料利用
- 資源循環②：ビール粕コッペパンの給食提供
- 資源循環③：はみ出しホップシャンプー販売



なかにし農園様（若松区）

発生するビール粕全量を飼料に利用。産廃費用抑制、資源活用でWIN-WIN



ビール粕コッペパン

SDGs推進校12校で提供。クラウン製パン、百年生物化学研究所様とのコラボ



PALSEYLLÉ®

オーガニック化粧品メーカーとホップシャンプー

Sビールに使用できないはみ出しホップを使った100%天然由来成分のシャンプーを製造・販売



イベント連携



Tomorrow Coast様

若松のグランピング施設とホップの収穫体験、BBQのコラボイベントの実施

地域SDGs事業（若松エール）の取り組み実績



田中農園（若松）



坪根農園（小倉南）



日明浄化センター



赤崎市民センター
（若松）



市民が
栽培



折尾幼稚園
自由ヶ丘幼稚園



九州共立大学



北九大
ひびきのキャンパス



小倉駅

地域SDGs事業（若松エール）の取り組み実績

- 日明浄化センターの下水汚泥肥料（じゅんかん育ち）ホップ栽培
- 鉄鋼スラグを原料とする肥料によるホップ栽培



➤ 地域内資源循環の実践

